

人間総合科学大学

U H A S

University of Human Arts and Sciences

心身健康科学科

人間科学部

こころ、からだ、文化・社会

通信教育課程



学校法人 早稲田医療学園

人間総合科学大学

文部科学省認可 通信教育課程

問い合わせ先

電話番号：048-749-6111 受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

E-mail：admin@human.ac.jp



公式サイト

<https://www.human.ac.jp/>



LINE入学相談



YouTube



BM25250807

学びを あきらめない。

いつでも、どこでも、ひとは成長できる。

学びたい

資格を取りたい

未来の自分にワクワクする

でも、時間や環境の壁に、気持ちを閉じ込めていませんか？

人間総合科学大学のオンライン学修は、

そんなあなたを力強く支えます

自分のペースで、いつでも、どこからでも

夢への第一歩を、今ここから踏み出しましょう

未来は、ここから始まります

「ジェネレーショナル・ヘルスサイエンス 教育プログラム」

「ジェネレーショナル」とは、世代に着目する考え方です。本学では、次の世代を支える高齢者世代、働き盛りのキャリア世代、未来を担う若者世代に応じた教育プログラムを展開。各世代の特性を活かし、こころとからだの健康を支えながら社会で活躍できる力を育みます。



INDEX

- 03 本学のコンセプト
- 05 学科の特長
- 07 開講科目一覧
- 09 学びのスタイル
- 13 正科生
- 21 科目等履修生
- 25 卒業までのステップ
- 26 学修スケジュール
- 27 学修方法
- 30 Q&A
- 31 卒業生からのメッセージ
- 33 沿革と組織
- 34 交通アクセス

Message

学びこそ、皆さんの未来の成長を支える

人間総合科学大学は、人間とは何か、生命とは何か、健康とは何かという、人間の本質を探究するための「心身健康科学」を体系化して、人間の全体像を「こころ」と「からだ」の関わりに「文化・社会」の視点も加えた3側面から総合的にとらえることを全学共通の教育理念としています。

心身健康科学科は、2000年の大学創設時に開設された通信教育課程の学科です。この心身健康科学科には、医療系を中心に様々な仕事を持つ、多くの社会人も学んでいます。そして、本学で学ぶ学生さんは、「学ぶ」「知る」という行為への強い動機を持っています。この動機こそ、実は、私たちのDNAに刻まれた、人間らしく生きようとする意思から発せられるエネルギーにほかなりません。

皆さんの、よりよく生きようとする意思を本学科で満足させてください。



学校法人
早稲田医療学園 理事長
人間総合科学大学 学長
くすみ まり
久住 眞理

1993年に早稲田医療技術専門学校を設立、2000年に人間総合科学大学を創立。主な著書に「新時代の“学び”考」、「心身健康科学」、「Health Sciences of Mind and Body」、「CLINICALACUPUNCTURE」、「運命を変える心とからだの磨き方」、「ヒューマン-私たち人類の壮大な物語」ほか。医学博士 臨床心理学修士。

教育研究上の目的

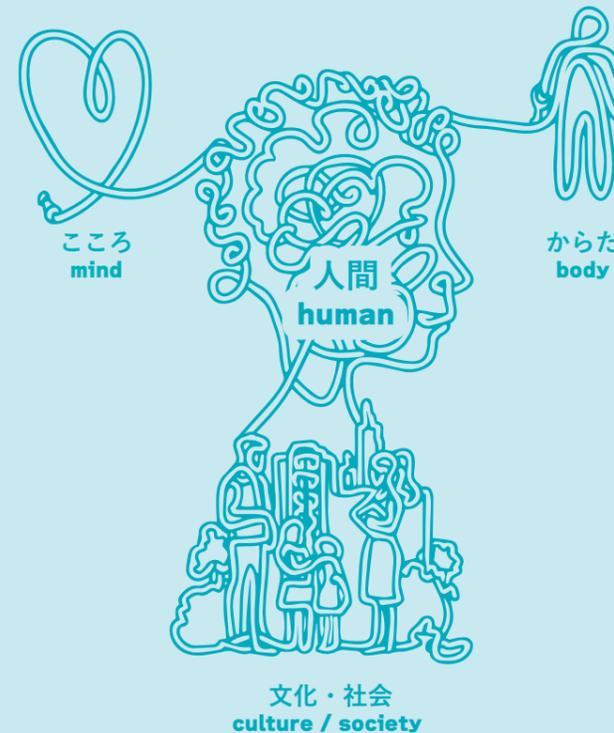
—よりよく生きるための知恵 (Knowledge for well-being)の創出—

人間総合科学大学は、教育基本法及び建学の精神に基づき、深く人間を理解し、自立と共生の心を培い、時代を切り拓く新しい展望と視座に立って、わが国の発展、国際社会に貢献しうる創造性豊かな活力あふれる人材の育成を目的とする。

アドミッションポリシー

心身健康科学科では、大学および学部の教育研究上の目的を踏まえて、次のような資質を有した人材を受け入れる。

- 1 人間の「こころ」「からだ」「文化・社会」の学びに関心があり、その社会応用に必要な科学技術の修得に興味のある人
- 2 人間の理解とウェルビーイング（心身の健康と幸せ）に関心があり、心身ともに健康で豊かな人生と幸せな社会づくりを追求するために必要な教養（リベラル・アーツ）を修得する意欲を持つ人
- 3 社会の動向や科学と技術の進展に関心を持ち、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ人
- 4 自立の精神と自己理解を大切に、オンラインによる柔軟な学修環境を活かして、自らの社会的経験を基盤にした学びを主体的に追求する意欲のある人



人間をひもとく

「こころ」「からだ」「文化・社会」から人間を科学的かつ統合的にとらえます。

こころを理解する

こころが生じる仕組みや行動を理解し、他者とよりよく過ごせる知恵を見出します。

からだを理解する

私たちが構成するからだの仕組みを理解し、地球上で生活するヒトとしての活動の土台を理解します。

文化・社会を理解する

人間のこころとからだに大きな影響を及ぼす文化や社会との関係性について理解を深めます。

人間総合科学大学 建学の精神

2023年に
学園70周年を迎えました

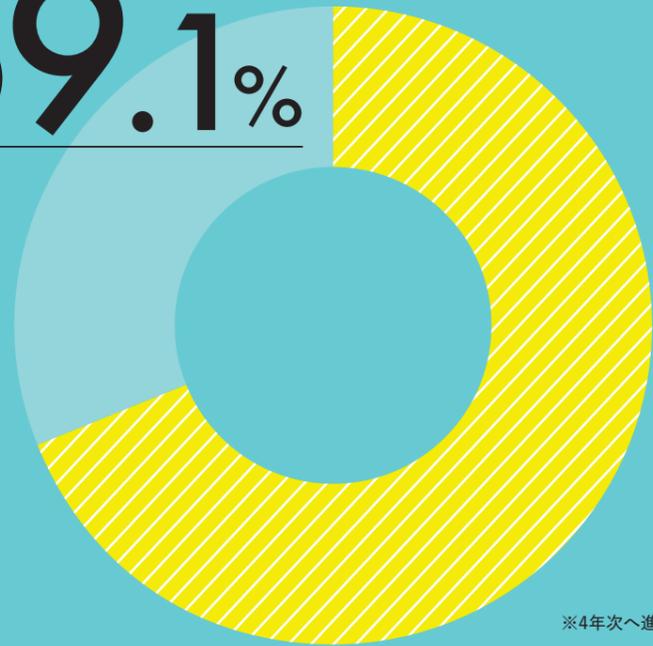


人は、心と身体が相関しており、社会的生き物である。
しかも、有史以来、進化発展を続けている。
21世紀を力強く生きるためには、新しい展望と視座に立って、一人一人がしっかりした価値観を持ち、未来を切り拓く自己決定能力と勇気を持たなければならない。
ここに、人間を「こころ」「からだ」「文化・社会」の面から追求し、学際的に総合して科学的に探究する必要がある。
人間総合科学大学を創設し、あらたな学問の追求と統合により、真に人間を理解し、自立と共生の心を培い、活力あふれる創造性と豊かな人間性を育む。

2000年4月 創立者 久住 眞理

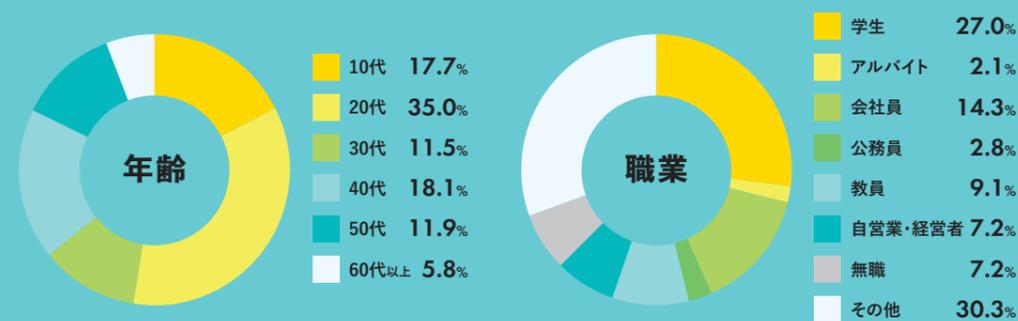
高い卒業率※

69.1%



※4年次へ進級した学生の卒業率

本学は通信制大学の中では毎年トップクラスの卒業率を誇ります。それを可能にしているのが、学生の学びやすさを追求し、継続学修を実現した学修システムです。スクーリング授業のほか、一定期間内で自由に受験できる科目修了試験、学ぶ意欲をサポートする担任制度など、貴重な時間や学費をムダにせず、卒業まで学修をやり遂げられる環境が整っています。



2025年5月1日現在 正科生のみ962名

だから継続できる。目標を達成できる。

- Feature 1 通学ゼロでも卒業可能**
 誰もが気軽に学べる、卒業を目指せる履修スタイル
 スクーリングもインターネット授業を選択すれば通学不要です。英語や体育、卒業研究も必修ではなく選択制。日本全国から、また海外在住の方も多く学んでいます。
- Feature 2 1回10分程度のインターネット授業**
 ライフスタイルに合わせた学びが可能
 インターネット授業はいつでもどこでも何度でも受講可能。通学時間や経費が軽減されるため、仕事、子育て、介護、趣味などと両立しながら学べます。
- Feature 3 科目選択の自由度**
 100以上の科目とオリジナルテキスト
 脳科学、生命科学、行動科学、発達心理学、心身医学、進化人類学など100科目以上の多彩なカリキュラム。主要科目では担当教員がオリジナルテキストを開発しています。
- Feature 4 担任教員が一人ひとりの成長を支える**
 担任制で目標や学修環境に合わせてサポート
 担任教員が一人ひとりを卒業までしっかりサポート。一人で学ぶのが不安な学生さんや、学修計画を自分で立てるのが苦手な学生さんも安心して学びを進められます。
- Feature 5 授業料は定額制**
 予期せぬ出費で学修がストップしないように
 正科生の授業料は安心の定額制で、翌期の再受講やスクーリングも追加費用なし。半期ごとの支払いで、一度の出費を軽減できます。※看護教員養成コースの一部科目を除く

再受講などの際も追加費用ナシ!

定額制授業料(正科生)

- テキスト履修科目受講料
- 科目修了試験受験料
- スクーリング履修科目インターネット授業受講料
- スクーリング履修科目会場スクーリング受講料
- 総合演習指導費

= 1単位あたり **6,042円**

1年間の正科生授業料(年間290,000円)と年間履修可能な48単位から算出。

※入学検定料・テキスト代は別途。
 ※システム管理・維持費(半期25,000円)は別途。
 ※別途登録料が必要な場合があります。

4年間の学費の比較
 (入学金、授業料、システム管理・維持費)

本学(通信制)	134万5千円
Z大学(通信制)	約156万円
国立大学	約243万円*
私立大学(理系)	約474万円*

※出典:文部科学省 国公立大学の授業料等の推移

学びのスタイル

目的に合わせて選べる！学びのスタイル



学びのスタイル

学びのスタイルと入学資格・ポイント

本学では、「正科生」と「科目等履修生」それぞれにおいて一人ひとりのこれまでの学びや、最終学歴、学ぶ目的に合わせた入学制度を整えています。ご自身にぴったりのものを選ぶことで、無理なく効率的に学修することができます。

	入学年次	修業年限	入学資格 <small>募集要項要確認</small>	ポイント
正科生	1年次入学	4年 (在学年限8年)	高等学校卒業(見込みも含む)もしくはこれと同等以上の大学入学資格をお持ちの方	「大学卒業資格を取得したい」「生涯学習として教養を深めたい」。 4年間でたくさんの授業を受講できるので、学ぶ楽しさも実感できます。  卒業に向けてコツコツ学修!
	3年次編入学	2年 (在学年限6年)	修業年限2年以上の大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科を卒業・修了した方(見込みも含む)など 1つの大学に2年以上在学し、62単位以上取得後に中途退学した方など	短大や専門学校を卒業した方でも、「大学で本格的に学びたい」「資格を取りたい」というニーズが高まっています。 本学ではそうした要望に応え、正科生として3年次編入学制度を実施しています。  スキマ時間を活用してスキルアップ
	4年次編入学	1年 (在学年限3年)	コ・メディカル領域、補完代替医療領域、教育領域など(※)を養成する修業年限3年以上の大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校)を卒業・修了した方など	「短期間でさらに学びたい」「リスクでキャリアに活かしたい」というニーズに応え、4年次編入学制度を開設しました。 1年で効率的に学修することができます。  1年でリスク!
科目等履修生	—	半期 (半年)	満18歳以上の方	大学入学資格を有していない方(高等学校を卒業されていない方など)でも、科目等履修生として各分野にわたり1科目以上計16単位以上を修得すると、本学の心身健康科学科正科生としての入学資格が得られます(満18歳以上の方)。入学の際、既修得単位はすべて認定されます。  “好き”を楽しく学びたい
	学士申請プログラム	1年間 (科目等履修生としての登録となります)	次の資格を養成する修業年限3年以上の短期大学・専修学校専門課程(専門学校)を卒業・修了した方 ・看護師・理学療法士・作業療法士 ・はり師・きゅう師・管理栄養士・栄養士	「基礎資格(第2区分)」を有する方は、本学で必要な単位を積み上げることで、大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請が可能になります。  さらにキャリアアップを目指して
	履修証明プログラム	1年間 (科目等履修生としての登録となります)	大学入学資格を持つ社会人の方、本学科目等履修生・正科生	大学などにおける学修成果を職業キャリアの形成に活かすことを目的とし、社会人などを対象とした人材養成にかかわる学修プログラム(履修証明プログラム)の修了者に対して、学校教育法に基づく履修証明書(Certificate)を交付する制度です。再就職やキャリアアップを目指す方には大学の学位に比べより短期間に修得することが可能な教育システムであり、修了事項は履歴書などへの記載が可能です。  学びを自信につなげていきたい

修業年限: 本学を卒業するために必要な学修期間 在学年限: 本学学生として籍をおくことができる期間 ※いずれも休学期間は含まれません。

(※)コ・メディカル領域: 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士、視能訓練士、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師、歯科衛生士 等
補完代替医療領域: はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師 等
教育領域: 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭免許、特別支援学校教諭免許、養護教諭免許、栄養教諭免許 等

心身健康科学科 正科生の特徴

- 「テキスト履修(印刷教材による授業)」と「スクーリング履修(会場・オンライン・インターネット授業)」の組み合わせで進めていきます。
- 年間48単位(コースによっては52単位)まで履修が可能なので、たくさん学びたい方は4年間で192単位まで履修できます。

卒業に必要な単位数(2025年度の場合)

分野		分野別必要単位数
基礎科目		1(1)
専門科目	コア科目	10(4)
	こころとからだの関係	8(4)
	いのちと健康のしくみ	8(2)
	環境・社会と人間	8(2)
	未来と人間	2
	総合演習	8(4)
選択		79
合計		上記を含めて124(30)

1年次入学の場合	計124(30)以上	※必修・選択必修で45(13)単位。残り79(17)単位は、自由に選択して単位修得を行います。
3年次編入学の場合	計62(16)以上	※必修・選択必修で45(13)単位。残り17(3)単位は、自由に選択して単位修得を行います。※コース・プログラムが定める必要単位数があります。
4年次編入学の場合	計32(12)~33(19)以上	※必修・選択必修で32(12)~33(19)単位。入学資格、登録コースにより異なります。

※必要単位数は変更になる可能性があります。 ※()内は、スクーリング履修単位

Point

大学院(修士課程)への進学サポート

本学では、「人間総合科学の探究」という科目の中で、丁寧な論文指導を行っています。この科目では、大学院(修士課程)への進学を希望する方が論文作成を通して研究を初歩から学ぶことができます。また、大学院進学プログラムや学内推薦制度もあります。

出願時あるいは進級時に登録が必要なコース・プログラム

ライフプロモーションコース 【対象:高校卒業3年以内1年次入学】

自分自身について理解を深め、今後のよりよい生き方や人生を見出していくコースです。

P15

看護教員養成コース 【対象:3年次編入学】

看護師養成所の専任教員の資格を取得したい方へおすすめするコースです。

P16

学士申請サポートコース 【対象:3年次・4年次編入学】

看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、はり師・きゅう師、歯科衛生士、柔道整復師、管理栄養士、栄養士を養成する専門学校をご卒業の方へおすすめするコースです。

P17

出願時あるいは進級時に登録が不要なプログラム・プラン

自立活動指導力アッププログラム

【対象:3年次・4年次編入学】

自立活動の授業運営、指導計画に役立つ知識と技術を学修するプログラムです。

P19

「卒業」最優先プラン

「最短の修業年限」かつ「最小限の履修」での卒業を目指す方におすすめのプランです。

P20

認定心理士
を取得するプラン

日本心理学会の定める単位を修得し、「認定心理士」を目指すプランです。実験実習科目を含みます。

詳しくはこちら



社会福祉主事(任用資格)
を取得するプラン

指定科目から3科目以上の単位を修得し、社会福祉主事任用資格を取得するプランです。

詳しくはこちら



※ストレスマネジメントプログラムは正科生でも科目等履修生でも履修できます。 ▶ P24

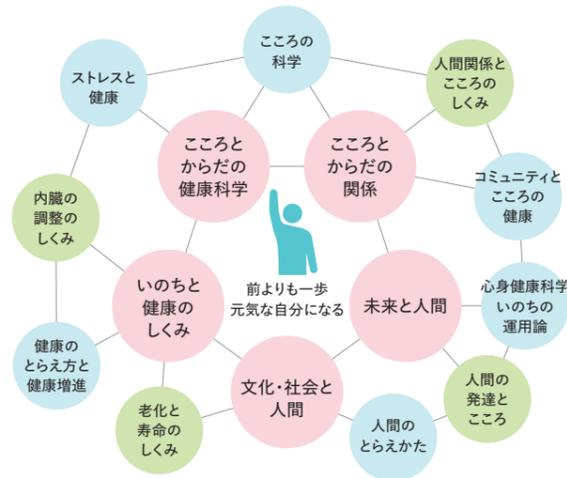


いのちの運用・たくましい生き方を学ぶ

学修内容

本コースでは、どのように生きることが本当の自分の生き方なのか、自分を知り、よりよく生きられる人生を見出していくコースです。「こころの科学」や「人間関係とこころのしくみ」といった心理系のこころの科目や、「ストレスと健康」といったからだの科目、「人間のとらえかた」のような文化・社会の科目を学びながら、そこにつながる自分である人間-ヒューマン-を知り、活かすことができるようになることが、たくましい生き方につながります。

何かにつまづいていても、学びながら前よりも一歩元気でやさしくなれるような自分を感じることができるようになるかもしれません。



こんな方が学んでいます

自宅でマイペースに学びたい
#通学ゼロ #大卒資格 #ストレスマネジメント

このような仕事に興味がある方へ

- 健康福祉支援事業、生涯設計や健康に関わる企画・営業など、健康をコンサルティングする
- 就労継続支援B型事業所での障がい者就労支援：利用者への作業支援・日常生活におけるサポートなど
- 就労移行支援事業所での支援員：復職や再就職などを目指す方々のサポート



履修モデル(自動的に履修登録されます)

(1年次35単位/2年次38単位/3年次37単位/4年次14単位)

期区分	科目名
1年次	前期 ● 人間総合科学大学でのマナビ(N) ● ヒューマン-人間のこころとからだ(N) ● ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ● ヒューマン-環境・社会といのちのつながり(N) ● ヒトと人間の科学(T) ● 人間行動の仕組みとこころ(T)(N) ● いのちの科学(T)(N) ● からだの構造とはたらき(N)
	後期 ● 心身健康科学-こころとからだの健康科学(T)(N) ● 心身健康科学-いのちの運用論(T) ● ストレスと健康(T)(N) ● コミュニケーションのコツ(T) ● 細胞といのちの営み(T) ● 心身相関の科学(T) ● 共生と環境(T)(N)
2年次	前期 ● 人間関係とこころのしくみ(T) ● 人間の発達とこころ(T)(N) ● 感情・思考・行動パターンと人間関係(T) ● チームワーク論(T)(N) ● こころの科学(T) ● カウンセリングのすすめ(T) ● 人間のとらえかた(T)
	後期 ● アレルギーのしくみ(T) ● 異文化の理解(T)(N) ● 人類の進化(T) ● 地球・生命・文化の歴史(T) ● 食と文化(T) ● 手当の科学(T) ● いのちの倫理(T)(N)
3年次	前期 ● 健康のとらえ方と健康増進(T)(N) ● 健康と疾病予防(T) ● 女性とこころ・からだの健康(T) ● 高齢者のからだと健康(T) ● 内臓の調整のしくみ(T)(N) ● 現代の養生訓(T) ● 食べもの学(T)
	後期 ● AIデータ活用リテラシー(N) ● ヒューマン-未来社会の幸福(T) ● こころの健康と家族関係(T) ● 老化と寿命のしくみ(T) ● 栄養と心身の健康(T) ● 文明の成り立ち(T)(N) ● 伝承医学(T) ● いのちの文化人類学(T) ● プレゼンテーション論(T)
4年次	前期 ● 人間総合科学の理解I ● 地球環境と人間(T) ● UHASセミナー(T)
	後期 ● こころとからだのつながりと病気(N) ● 人間総合科学の理解II ● ライフプロモーションストーリーズ(T)

※ T: テキスト履修, S: 会場スクーリング履修, N: インターネット履修
※ 科目が変更になる場合があります。

学修内容

看護教員養成コースは、保健師・助産師・看護師として5年以上業務に従事した方向けのコースです。「看護教員養成プログラム」は、年間約31日間のスクーリング(オンライン)、本学のポータルサイトでのe-ラーニング、看護教育実習(2単位、11日間程度)での履修になります。本コースは、3年次以上の学年でコース登録が可能です(※定員40名、選考があります)。本プログラムは1年間で履修するもので、例年厚生労働省へ「専任教員養成講習会」として認定申請しています。また、文部科学省の「職業実践力育成プログラム(BP)」として認定されており、「専門実践教育訓練給付制度講座」に指定されているため、受講・修了した場合に、その費用の一部が教育訓練給付金として支給されます。

▶「人間科学部 心身健康科学科 看護教員養成コース【通信制】GUIDEBOOK」をご覧ください。

看護教員養成プログラム 33単位

区分	科目名	履修形態	単位数
基礎分野	教育学概論(T)	T	2
	教育方法論	T	1
	教育心理学(学習と発達)(T)	T	2
	教育評価論	T	1
	情報通信技術	S	1
専門分野	看護論	T	1
	看護論演習	S	1
	看護教育・制度論	T	2
	看護教育課程論	T2・S1	3
	看護教育課程演習	S	2
	看護教育方法論	T5・S1	6
	看護教育方法演習	S	3
	専門領域別看護論演習	S	2
	看護教育評価論	T	2
	看護教育評価演習	S	1
	看護学校組織運営論	T	1
	看護教育実習	S	2

履修形態の「T」は「テキスト履修科目(一部スクーリングを含む科目もあります)」、印刷物、学生ポータルサイトを利用した授業。「S」は「対面式授業(オンラインでのスクーリングと看護教育実習)」を表します。

Point

コース登録せずに看護師等養成所の専任教員の資格を取得

保健師・助産師・看護師として1つの専門分野に3年以上従事した方は、看護教員養成コースに登録しなくても、教育学概論、教育方法論、教育心理学(学習と発達)、教育評価論の4科目(教育に関する科目)を履修して卒業することにより、看護師等養成所の専任教員の資格を取得できます。

こんな方が学んでいます

- 看護専門学校の教員の資格を取得して転職したい
- 後進の育成のため看護基礎教育についてしっかり学びたい
- 仕事や家庭と両立させるためにオンライン学修を選びたい

3年次編入履修モデル

(78単位以上取得)

(看護教員養成プログラム33単位含む)

各科目区分には、多様な科目が配置されています。各科目区分における単位数が、最低単位数以上になるように科目を履修していきます。

科目区分	種別	単位数
基本科目	必修	1(1)
専門科目	コア科目	選択必修 10(4)
	こころとからだの関係	選択 8(4)
	いのちと健康のしくみ	選択 8(2)
	環境・社会と人間	選択 8(2)
	未来と人間	選択 2
総合演習	選択必修 8(4)	
看護教員養成プログラム	必修	33(14)

()内はスクーリング科目の単位数
卒業後に「学士(看護学)」の学位授与申請を目指される方は、在学中更に必要科目(単位数)の修得が必要になります。



【3年次編入学】【4年次編入学】

学士申請サポートコース

リスクを応援!

学修内容

医療系の専修学校専門課程(専門学校)を修了した方へおすすめする3年次・4年次編入学のコースです。修業年限3年以上の専修学校専門課程(専門学校)を修了された方は4年次に編入学できます。卒業時には学士(人間科学)が授与されます。また、卒業後に大学改革支援・学位授与機構へ学位授与申請するために必要な単位を履修することができます。本コースに登録すると、申請に必要な学修成果(※)の作成を見据えた論文指導を受けることができます。

※学位取得を希望する専攻の区分に即して自らテーマを設定して作成するレポート

こんな方が学んでいます



大学改革支援・学位授与機構へ学位授与申請をして学士を目指したい



学修成果のレポート作成に不安があるので指導を受けたい

学位授与申請ができる学士		対象者
学士(看護学)	専攻の区分:看護学	看護師
学士(保健衛生学)	専攻の区分:理学療法学	理学療法士
学士(保健衛生学)	専攻の区分:作業療法学	作業療法士
学士(保健衛生学)	専攻の区分:検査技術科学	臨床検査技師
学士(保健衛生学)	専攻の区分:放射線技術科学	診療放射線技師
学士(鍼灸学)	専攻の区分:鍼灸学	はり師、きゅう師
学士(口腔保健学)	専攻の区分:口腔保健衛生学	歯科衛生士
学士(柔道整復学)	専攻の区分:柔道整復学	柔道整復師
学士(栄養学)	専攻の区分:栄養学	管理栄養士、栄養士

左記のいずれかの「資格」を養成する短期大学や専修学校専門課程(専門学校)(※)を卒業・修了した方。

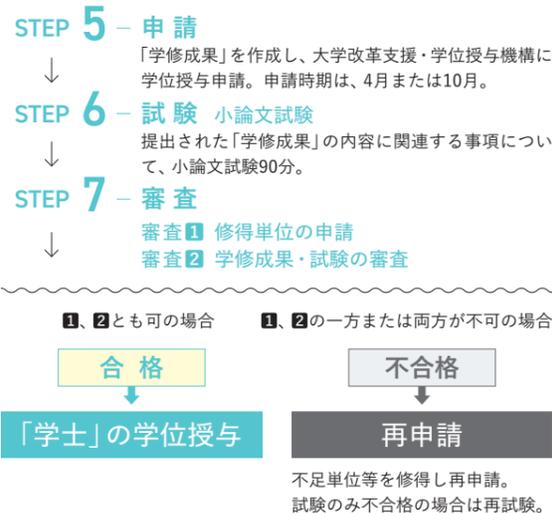
※3年次編入学の場合は修業年限2年以上、4年次編入学の場合は修業年限3年以上。詳細は本学HPの募集要項をご確認ください。

※卒業後、大学改革支援・学位授与機構にご自身で学位授与申請し、合格することで取得できます。

入学から学士取得までの流れ

- STEP 0 - 「基礎資格」の取得 ※上表参照
医療系3年制以上の短大卒業・専門学校修了など
- STEP 1 - 登録
人間総合科学大学での学修
学士申請サポートコースへ登録。
- STEP 2 - 単位の修得
所定の科目を履修し、申請に必要な単位を取得。
- STEP 3 - 総合演習での論文指導
選択必修:人間総合科学の探究
『学修成果』を見据えたサポートを受けながら、特定のテーマを自ら設定して論文を作成。
- STEP 4 - 卒業=学士(人間科学)の学位授与

学士の取得をめざす場合は卒業後に自身での手続きが必要となります。



履修モデル

～「たくさんの科目があって、選ぶのに迷ってしまう!」という方へ～
自分の目標や興味に合わせて科目を選択できますが、一例として履修モデルを挙げます。

看護学 3年次編入履修モデル(3年次42単位/4年次20単位)

期区分	科目名
3年次	前期 ●成人期の看護(T) ●老年期と看護(T) ●社会と福祉(T) ●文献検索・情報活用入門(T) ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●人間行動の仕組みとところ(N) ●教育学概論(T)★ ●教育心理学(学習と発達)(T)★
	後期 ●こころの健康と看護(T)(N) ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●ストレスと健康(N) ●高齢社会における福祉・医療(T) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●教育方法論(T)★ ●教育評価論(T)★ ●科学論文の読み方(クリティカルシンキング入門)(T) ●論文の書き方(N) ●プレゼンテーション論(T)
4年次	前期 ●病気のしくみ(T)(N) ●栄養と心身の健康(T)(N) ●いのちの倫理(T) ●チームワーク論(T)(N) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●人間総合科学の探究II

4年次編入履修モデル(32単位)

期区分	科目名
4年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●こころの健康と看護(T)(N) ●社会と福祉(T) ●いのちの倫理(T) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●ストレスと健康(N) ●人間総合科学の探究II

保健衛生学 専攻の区分:理学療法学

3年次編入履修モデル(3年次42単位/4年次20単位)

期区分	科目名
3年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●いのちの科学(T)(N) ●健康のとらえ方と健康増進(T)(N) ●ストレスと健康(T)(N) ●文献検索・情報活用入門(T) ●手当の科学(T)
	後期 ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●人間の発達とところ(T)(N) ●人間行動の仕組みとところ(T)(N) ●心身相関の科学(T) ●栄養と心身の健康(T)(N) ●プレゼンテーション論(T) ●科学論文の読み方(クリティカルシンキング入門)(T) ●論文の書き方(N)
4年次	前期 ●コミュニケーションのコツ(T) ●チームワーク論(T)(N) ●高齢社会における福祉・医療(T) ●いのちの倫理(T) ●スポーツとけが・故障(T) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●人間総合科学の探究II

4年次編入履修モデル(32単位)

期区分	科目名
4年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●人間行動の仕組みとところ(T)(N) ●高齢社会における福祉・医療(T) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●人間の発達とところ(T)(N) ●チームワーク論(N) ●人間総合科学の探究II

鍼灸学 3年次編入履修モデル(3年次42単位/4年次20単位)

期区分	科目名
3年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●人間行動の仕組みとところ(T)(N) ●いのちの科学(N) ●内臓の調整のしくみ(T) ●スポーツとけが・故障(T) ●健康のとらえ方と健康増進(T)(N) ●文明の成り立ち(T)(N) ●文献検索・情報活用入門(T)
	後期 ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●ストレスと健康(T)(N) ●感情・思考・行動パターンと人間関係(T) ●心身相関の科学(T) ●現代の養生訓(T) ●プレゼンテーション論(T) ●科学論文の読み方(クリティカルシンキング入門)(T) ●論文の書き方(N)
4年次	前期 ●コミュニケーションのコツ(T) ●栄養と心身の健康(T)(N) ●伝承医学(T) ●異文化の理解(N) ●いのちの倫理(T)(N) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●人間総合科学の探究II

4年次編入履修モデル(32単位)

期区分	科目名
4年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこことからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●心身健康科学-こことからだの健康科学(T)(N) ●人間の発達とところ(T)(N) ●文明の成り立ち(T)(N) ●人間総合科学の探究I
	後期 ●ヒューマン-環境・社会とのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●ストレスと健康(T)(N) ●異文化の理解(T) ●人間総合科学の探究II

※ T: テキスト履修、N: インターネット履修、★教育に関する科目 ※ 科目が変更になる場合があります。

自立活動指導力アッププログラム

リスクを応援!

特別支援教育の現場で役立つ自立活動運営を学ぶ

学修内容

本プログラムは、主に自立活動を支援する立場の方に向けて、障がいにより学修や生活に困難を抱える児童・生徒が、自立に向けてそれらを主体的に克服できるよう、必要な知識・技能・態度・習慣を育成し、心身の調和的発達を支えるための指導力を身につけることを目的としています。授業運営や指導計画に役立つ専門的な知識と技術を学ぶとともに、「こころ」と「からだ」の仕組みとその関連性を基礎から理解し、実践的な指導力を養います。

こんな方が学んでいます

- 特別支援学校の先生で、自立活動部に配属になった
- 担当クラスで支援を必要とする生徒に向き合いたい
- 看護師として児童発達支援施設で医療的ケアを行っている

現場で活かせる指導技術

児童・生徒に最適な指導技術を学びます。日常の教育現場で即実践できる技術を修得できます。

自立活動の指導に直結する授業

自立活動の授業デザイン

学修した知識と技術を個々の児童・生徒の特性に応じて授業に導入するコツを学ぶことができます。

心身の健康を支える基礎知識

心と身体の相関についての基本的な理論とそれに基づいた実践方法を学びます。特別支援教育における具体的な応用例も紹介します。

自立活動指導力アッププログラム 【3年次・4年次編入学】

児童や生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために、人間の「こころ」と「からだ」のしくみや関連性を基礎から深く理解し、実践的な指導に結びつく学びを提供します。自立活動の授業運営、指導計画に役立つ知識と技術を学修できます。特別支援教育に従事されている方を対象とした専門科目は、オンラインスクーリングや対面スクーリングの形式で開講しています。



3年次編入履修モデル (3年次33単位 / 4年次29単位)

期区分	科目名
3年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこころとからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会といのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●自立活動の指導の実際 入門編(S) ●自立活動の指導の実際 基礎編(S) ●知的障がいと自立活動の基礎(S) ●からだの構造とはたらき(T)(N) ●運動のしくみ(T)(N) ●こころの科学(T)
	後期 ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(T)(N) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●自立活動の指導の実際 展開編(S) ●知的障がいと自立活動の応用(S) ●脳とこころの関係(T)(N) ●人間の発達とこころ(T)(N) ●内臓の調整のしくみ(T)(N)
4年次	前期 ●教育と神経生理学(S) ●人間行動の仕組みとこころ(N) ●コミュニケーションのコツ(T) ●ストレスと健康(N) ●アレルギーのしくみ(T) ●いのちの倫理(T) ●総合演習I
	後期 ●自立活動の指導の実際 生活編(S) ●障がいの事例に応じた授業プラン(肢体不自由・重度重複編)(S) ●障がいの事例に応じた授業プラン(知的障がい編)(S) ●カウンセリングのすすめ(T) ●手当の科学(T) ●チームワーク論(T)(N) ●総合演習II

4年次編入履修モデル (33単位)

期区分	科目名
4年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこころとからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会といのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●自立活動の指導の実際 入門編(S) ●自立活動の指導の実際 基礎編(S) ●知的障がいと自立活動の基礎(S) ●教育と神経生理学(S) ●からだの構造とはたらき(T)(N) ●運動のしくみ(T) ●総合演習I
	後期 ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(T)(N) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●自立活動の指導の実際 生活編(S) ●自立活動の指導の実際 展開編(S) ●知的障がいと自立活動の応用(S) ●脳とこころの関係(N) ●障がいの事例に応じた授業プラン(肢体不自由・重度重複編)(S) ●障がいの事例に応じた授業プラン(知的障がい編)(S) ●総合演習II

各プラン・履修モデル

※2025年度の開講科目です。

「卒業」最優先プラン 【1年次入学・3年次編入学】

「最短の修業年限」かつ「最小限の負担」での卒業(大卒資格の獲得)を目指す方におすすめのプランです。1年次入学生、3年次編入学生それぞれの学修が進めやすいと思われる科目プランを参考に、取り組んでみましょう。学修に余裕がありそうであれば後半期からは次年度予定の科目を前倒して履修し、余裕がない場合は、履修を後ろ倒しにしていきましょう(卒業年次には余裕を持たせてあります)。



1年次入学履修モデル (1年次42単位 / 2年次46単位 / 3年次28単位 / 4年次8単位)

期区分	科目名
1年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこころとからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会といのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●ヒトと人間の科学(T) ●人間行動の仕組みとこころ(N) ●人間行動の仕組みとこころ(T) ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(N) ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(T) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●心身相関の科学(T) ●文献検索・情報活用入門(T)
	後期 ●ストレスと健康(N) ●ストレスと健康(T) ●こころの科学(T) ●コミュニケーションのコツ(T) ●人間の発達とこころ(N) ●人間の発達とこころ(T) ●こころの科学(T) ●コミュニティとこころの健康(N) ●コミュニティとこころの健康(T) ●こころの健康と看護(N) ●こころの健康と看護(T) ●チームワーク論(T) ●チームワーク論(N)
2年次	前期 ●からだの構造とはたらき(N) ●からだの構造とはたらき(T) ●細胞といのちの営み(T) ●運動のしくみ(N) ●運動のしくみ(T) ●健康のとりえ方と健康増進(N) ●健康のとりえ方と健康増進(T) ●こころとからだのつながりと病気(N) ●こころとからだのつながりと病気(T) ●栄養といのちの営み(N) ●栄養といのちの営み(T) ●栄養と心身の健康(N) ●栄養と心身の健康(T)
	後期 ●食べもの学(T) ●食と文化(T) ●現代の養生訓(T) ●文明の成り立ち(N) ●文明の成り立ち(T) ●異文化の理解(N) ●異文化の理解(T) ●人間のとらえかた(T) ●異文化コミュニケーション(T)
3年次	前期 ●いのちの科学(N) ●いのちの科学(T) ●いのちの倫理(N) ●いのちの倫理(T) ●共生と環境(N) ●共生と環境(T) ●地球環境と人間(T) ●地球・生命・文化の歴史(T) ●論文の書き方(N)
	後期 ●社会と福祉(T) ●高齢社会における福祉・医療(T)
4年次	前期 ●人間総合科学の理解I
	後期 ●人間総合科学の理解II

3年次編入履修モデル (3年次41単位 / 4年次23単位)

期区分	科目名
3年次	前期 ●人間総合科学大学でのマナビ(N) ●ヒューマン-人間のこころとからだ(N) ●ヒューマン-いのちと健康の関係(N) ●ヒューマン-環境・社会といのちのつながり(N) ●ヒューマン-未来社会の幸福(T) ●ヒトと人間の科学(T) ●人間行動の仕組みとこころ(N) ●人間行動の仕組みとこころ(T) ●いのちの科学(N) ●いのちの科学(T) ●文明の成り立ち(N) ●文明の成り立ち(T) ●文献検索・情報活用入門(T)
	後期 ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(N) ●心身健康科学-こころとからだの健康科学(T) ●心身健康科学-いのちの運用論(T) ●コミュニケーションのコツ(T) ●ストレスと健康(N) ●ストレスと健康(T) ●こころの健康と病(T) ●細胞といのちの営み(T) ●心身相関の科学(T) ●共生と環境(N) ●共生と環境(T)
4年次	前期 ●人間の発達とこころ(N) ●人間の発達とこころ(T) ●異文化の理解(N) ●異文化の理解(T) ●人間のとらえかた(T) ●人間総合科学の理解I ●チームワーク論(N) ●チームワーク論(T)
	後期 ●人間総合科学の理解II

認定心理士を取得するプラン

【1年次入学・3年次編入学】



社会福祉主事任用資格を取得するプラン

【1年次入学・3年次編入学】





心身健康科学科 科目等履修生の特徴

- 1科目から選択することができるので、学費を抑えて学修することが可能です。「まずは興味のある科目だけ学びたい」という方には、科目等履修生としての学修が最適です。
- 在籍期間開始時点で満18歳以上であれば、どなたでも学ぶことができます。なお、科目等履修生は正科生ではないため「入学」や「卒業」はできません。
- 科目等履修生として、学士申請の単位を1年で修得することをめざす「学士申請プログラム」や、履修証明書の取得をめざす「履修証明プログラム」をご用意しています。



短期間で自由に学びたい

P22

医療系学士申請に必要な単位を1年で修得したい

P23

履修証明書を取得したい

P24

半期で興味ある科目を自由に学ぶ

学修内容

従来の大学通信教育では、狭い専門分野の中での限られた科目しか履修できませんでしたが、本学では科目は100科目以上も用意しています。科目等履修生として、学修期間(在籍期間)は半年間、24単位を上限として「総合演習」など一部の科目を除き、開講科目から自由に選択し、履修することができます。
※総合演習は履修できませんので、調査や研究を希望する場合は正科生となる必要があります。

こんな方が学んでいます



心身の健康について興味のある科目だけ学びたい



必要な単位を科目等履修生で効率よく修得したい

Point

科目等履修生から正科生へ

大学入学資格を有していない方(高等学校を卒業されていない方など)でも、科目等履修生として下表の科目の中から各分野にわたり1科目以上合計16単位以上を修得すると、本学の心身健康科学科正科生としての入学資格が得られます(満18歳以上の方)。入学の際、既修得単位はすべて認定されます。
※この入学資格は、本学の心身健康科学科に対してのみ有効です。他学科や他大学への入学資格とはなりません。

心身健康科学科正科生入学資格取得のために必要な単位数

区分	科目	単位数	履修条件
人文	人間のとらえかた	4	1科目以上修得
	異文化の理解	2	
	中国文化	2	
	日本仏教	2	
社会	英語の基本	2	1科目以上修得
	社会と福祉	4	
	高齢社会における福祉・医療	4	
自然	日本国憲法	2	1科目以上修得
	地球環境と人間	4	
	地球・生命・文化の歴史	4	

3分野から合計で16単位修得 ※科目は変更になる場合があります。

学士申請プログラム

学士申請の単位を1年で修得する

学修内容

本学の「学士申請プログラム」では、科目等履修生として登録し、卒業後に大学改革支援・学位授与機構へ学位授与申請するために必要な単位を履修することができます。卒業・修了した修業年限3年以上の短期大学や専修学校専門課程（専門学校）を基礎資格とします。申請に必要な「専攻科目（専門科目・関連科目）」と「一般科目」の単位を、あれこれと悩まずに、できるだけシンプルに1年間で修得することを目指します。本プログラムの登録では、学修成果（※）作成への論文指導はありません。学修成果作成への指導を受けたい場合は、4年次に編入学し、学士申請サポートコースへの登録をおすすめします。

※学位取得を希望する専攻の区分に即して自らテーマを設定して作成するレポート

こんな方が学んでいます



学位授与申請のために必要な単位を最短で取りたい



学修成果レポート作成は指導を受けなくても大丈夫

在籍期間 1年間（科目等履修生としての登録となります）

めざせる学位 本学では以下の学位授与申請を目指すことができます。

科目一覧はこちら



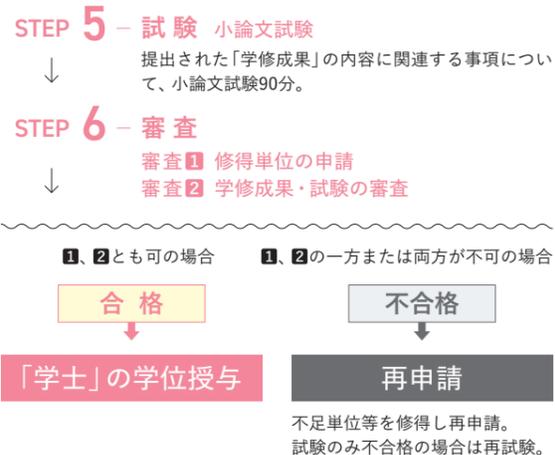
学位授与申請ができる学士		対象者
学士（看護学）	専攻の区分：看護学	看護師
学士（保健衛生学）	専攻の区分：理学療法	理学療法士
学士（保健衛生学）	専攻の区分：作業療法	作業療法士
学士（鍼灸学）	専攻の区分：鍼灸学	はり師、きゅう師
学士（栄養学）	専攻の区分：栄養学	管理栄養士、栄養士

左記のいずれかの「資格」を養成する修業年限3年以上の短期大学や専修学校専門課程（専門学校）を卒業・修了した方。
※詳細は本学HPの募集要項をご確認ください。

※学士申請プログラムはすべてテキスト履修となり、スクーリング履修の科目はありません。

学士申請プログラムによる学士の学位授与申請へのプロセス

- STEP 0 - 「基礎資格」の取得 ※上表参照
3年制以上の短大卒業・専門学校修了など
- STEP 1 - 登録 人間総合科学大学での学修
学士申請プログラムへ登録。
- STEP 2 - 単位の修得 本学でのテキスト科目履修
所定の科目を履修し、申請に必要な単位を取得。
- STEP 3 - 学修成果の作成
学位修得を希望する分野の特定のテーマを自ら設定して、レポートなどを作成。論文指導は行いません。
- STEP 4 - 申請
2、3を大学改革支援・学位授与機構に申請。申請時期は、4月または10月。



履修証明プログラム

系統立てて学び履修証明書を取得する

学修内容

履修証明制度とは、大学などにおける学修成果を職業キャリアの形成に活かすことを目的とし、大学などで開設した社会人などの学生以外の方を対象とした人材養成にかかわる学修プログラム（履修証明プログラム）の修了者に対して、学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付する制度です。大学の学位に比べ、より短期間で修得することが可能な教育システムであり、修了事項は履歴書などへの記載が可能です。本学では2つのプログラムを設けています。

こんな方が学んでいます



リスクとして学び、キャリアをステップアップしたい



健康に関する知識を系統立てて学び、教養を深めたい

在籍期間 1年間（科目等履修生としての登録となります）

対象者 大学入学資格を持つ社会人の方もしくは正科生あるいは科目等履修生 ※看護教員養成プログラムは正科生のみ

ストレスマネジメント・プログラム ～こころとからだの健康科学～ 17単位

科目名	履修形態	単位数	履修条件
心身健康科学-こころとからだの健康科学	N	1	必修科目 全6科目11単位
心身健康科学-こころとからだの健康科学	T	2	
ヒトと人間の科学	T	2	
人間行動の仕組みとこころ	N	2	
いのちの科学	N	2	
ストレスと健康	N	2	
こころとからだのつながりと病気	N	1	選択科目 6単位
病気のしくみ	N	1	
からだの構造とはたらき	N	2	
健康のとらえ方と健康増進	N	2	
人間の発達とこころ	N	1	

履修形態の「T」は「テキスト履修科目」、「N」は「インターネット授業履修科目」を表します。

看護教員養成プログラム 33単位

本プログラムについては、看護教員養成コース（P16）をご確認ください。



履修証明書申請方法

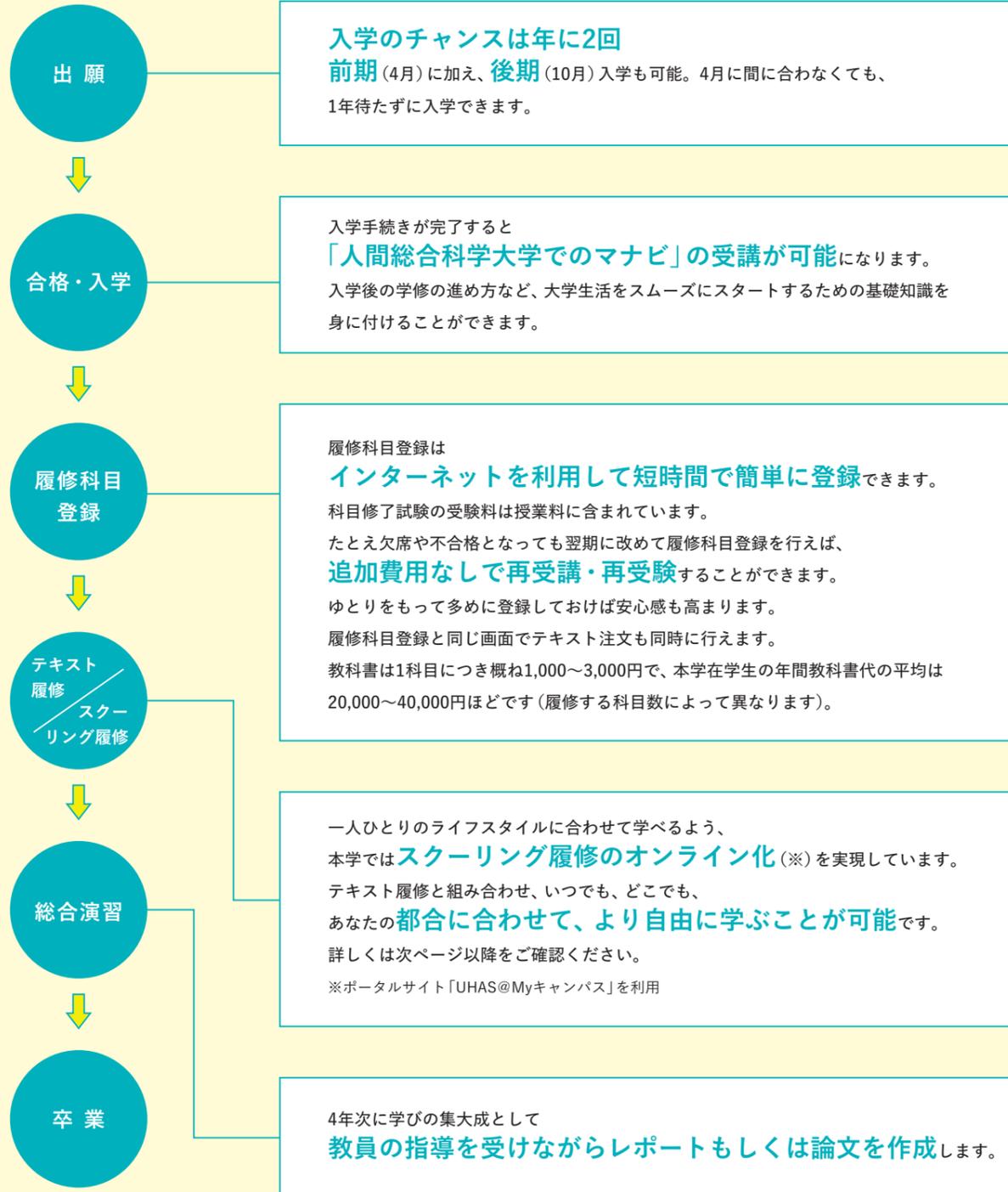
履修証明プログラムとして開講する科目の単位を修得し、認証修得条件を満たした場合、本学に対して修証明書（Certificate）の交付を申請することができます。

卒業までのステップ

正科生として出願し、卒業するまでのプロセス

本学の学修スタイルは、一貫して学生の学びやすさを重視。

インターネットを利用した授業や科目修了試験、担任制度など、出願から卒業まで学びやすく継続しやすい環境やシステムを整えて、あなたの学びをしっかりサポートします。



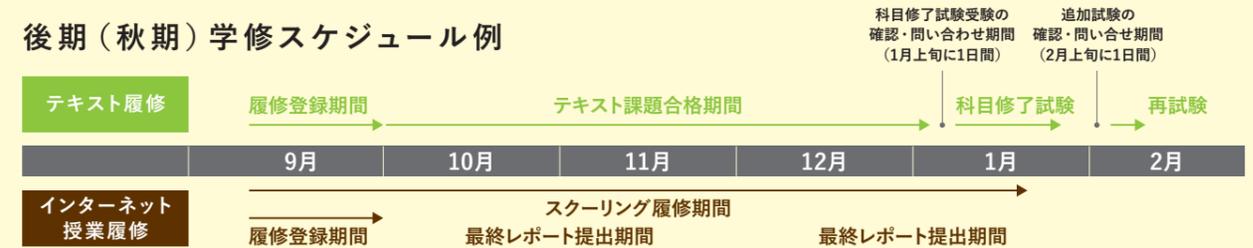
学修スケジュール

学修を支援するシステム

前期(春期)学修スケジュール例



後期(秋期)学修スケジュール例



◎テキスト履修科目は、テキスト課題と科目修了試験に合格することで単位修得 ◎インターネット授業履修科目は、ネット授業を視聴して最終レポートに合格することで単位修得。◎スクーリング履修はスクーリングの科目を選択した場合。
※2025年度のスケジュールです。

オンライン学修支援システム 「UHAS@Myキャンパス」

在学生専用ポータルサイトでオンラインによる学修支援の充実を図っています。履修の進捗の確認、科目担当者への質問、担任への連絡や相談、科目修了試験やレポートの提出、事務連絡などができます。



知識・スキル・経験のデジタル証明 オープンバッジ交付

オープンバッジとは世界的な技術標準規格に沿って発行される正式なデジタル証明/認証です。取得者はオープンバッジを電子履歴書や職務経歴書の資格欄に記載したり、電子メールの署名や電子名刺に記載できます。また、facebookやLinkedInなどのSNSで共有することもできます。



文部科学省認定プログラム AI・データ活用リテラシープログラム

全学部の学生を対象としたリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「AI・データ活用リテラシープログラム」を開講。本プログラムは文部科学省「数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されています。

就職サポート

1年次から4年次まで、さまざまな就職サポートを行っています。例:就職ガイダンス、合同インターンシップ説明会、就職対策セミナー、合同就職説明会、合同企業説明会、履歴書・面接指導(個別)、就職個別相談・個別指導など。希望者は3~4年生対象就職ガイダンスなどに参加できます。

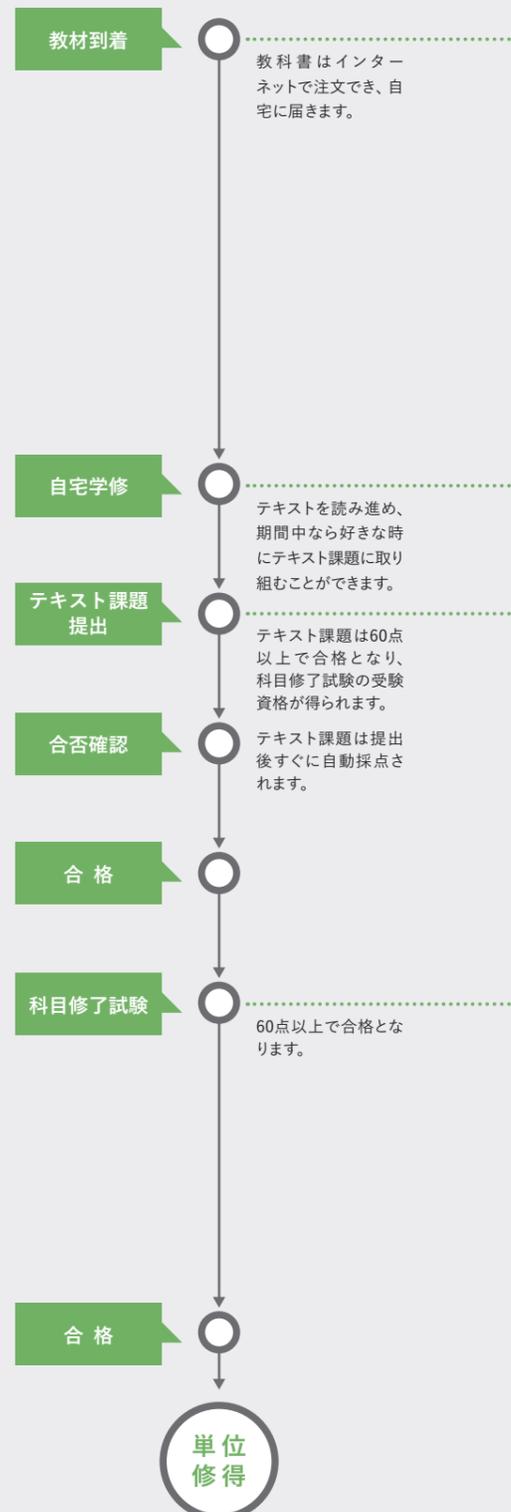
図書館(電子書籍)

蓮田キャンパス図書館では、心理学や生命科学、栄養学に関する幅広い蔵書を備えています。学生の皆さんは、自宅など学外からも電子ジャーナルやデータベースの利用ができます。また、岩槻キャンパス図書館では、看護・リハビリテーション関連図書を中心に所蔵しています。

学修方法 テキスト履修(T)

テキストを読んで課題を提出する、
通信教育課程の基本的な学修スタイルです。
課題や質問に対しては、教員が丁寧に添削指導や質疑応答を行い、
学修理解をサポートします。

テキスト履修の流れ



写真や図を使って解説した「オリジナルテキスト」

教員が指導計画に沿って執筆・編集した通信制専用のオリジナルテキストです。写真やチャート、模式図によって、複雑な内容も視覚的でわかりやすく理解できるように配慮されています。また、学修のねらいが示されており、自宅学修でも目標をもって取り組むことができます。



図解や写真を使用してわかりやすく
大事な単語は赤字にして表記

*市販教材を使用する科目もあります。

質問も課題提出も、インターネットで

自宅学修での疑問点は、UHAS@Myキャンパスから教員へ直接質問。課題提出や履修登録も、インターネットを活用すれば時間の短縮につながります。



Point

全国どこでも受験できる「インターネット試験」

科目修了試験は自宅にいながら試験が受けられる「インターネット試験」が用意され、自宅が大学の試験場となります。学びやすさを追求した学修システムが単位修得をしっかりサポートします。

- 科目修了試験の日程は前期と後期にそれぞれ10日間の試験期間が設けられ、試験期間内であれば24時間いつでも受験が可能です*。
- インターネット環境などが整っていれば、自宅でも旅先・出張先でも受験が可能で、他の予定を犠牲にすることなく単位が修得できます。
- パソコンの画面上に出題された問題を制限時間内(1科目60分)に解答します。
- 使用するパソコンが受験可能な環境であることを必ずご確認ください。



インターネット試験画面

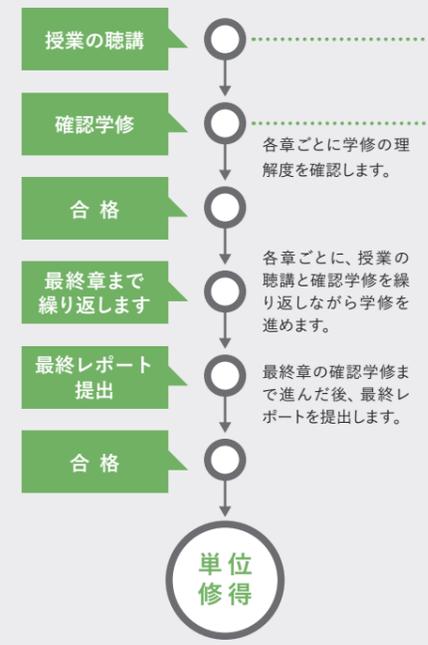


*試験初日9:00～最終日23:59までです。(再試験は2日間)
*実施内容は変更になる場合があります。
*日本時間で設定しています。

学修方法 スクーリング

仕事などで忙しい時はインターネット授業、
日程が合う時は会場スクーリングと科目ごとに受講スタイルを選んで学べます。
正科生は半期毎の定額授業料なのでスクーリング履修の科目を何科目受講しても追加費用は不要(前期・後期合わせて48単位まで)です。

インターネット授業の流れ

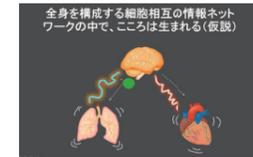


インターネット授業(N)

スクーリングをインターネットを利用して受講できます。24時間いつでもどこでもライフスタイルに合わせて学ぶことができます。卒業に必要なスクーリングは全てインターネット授業で履修可能です。

1回10分程度の動画授業

本学のホームページで、インターネット授業のトライアル版を体験できます。実際の授業の雰囲気をつかみたいという方は、ぜひお試しください。



確認学修は選択問題



確認学修画面

スクーリングの流れ



会場スクーリング(S)

実験・実習・教職関連科目などは会場スクーリングでの実施となります。指定された日程・会場で、教員から直接指導を受けます。会場スクーリングは、独学ではなかなか伝わらない科目の本質や魅力を発見できる重要な場といえます。もちろん、学ぶ仲間が集う貴重な交流の場でもあります。

会場スクーリングの時間割例

	1日目	2日目	3日目
2単位科目(実験含む)	9:00～18:00	9:00～18:00	9:00～16:30
1単位科目(前半開講)	9:00～18:00	9:00～13:00	—
1単位科目(後半開講)	13:00～18:00	9:00～17:00	—

再履修も可能(正科生のみ)

会場スクーリングは科目によって1年間に1～2回受講の機会(例外あり)がありますので、出席できなかったり、試験に合格できなかった場合は、次の半期に再度履修登録の上、受講が可能です。本学は年間定額制の学費体系のため、その場合も別途費用は不要です。

オンラインスクーリング(S)

看護教員養成コースの看護教員養成プログラムにおいては、Zoomを使用したオンライン授業を行っています。テキスト履修の一部の科目においては、学修内容の理解を深めるためのオンライン授業も取り入れています。また演習科目においては、各グループに分かれてグループワークをしたり、オンラインでのプレゼンテーションや全体討議による学修もできます。

総合演習

4年に学びの集大成として、
教員の指導を受けながらレポートや論文を作成する総合演習があります。
指導教員と相談しながら、本学で学んできた成果を形にします。

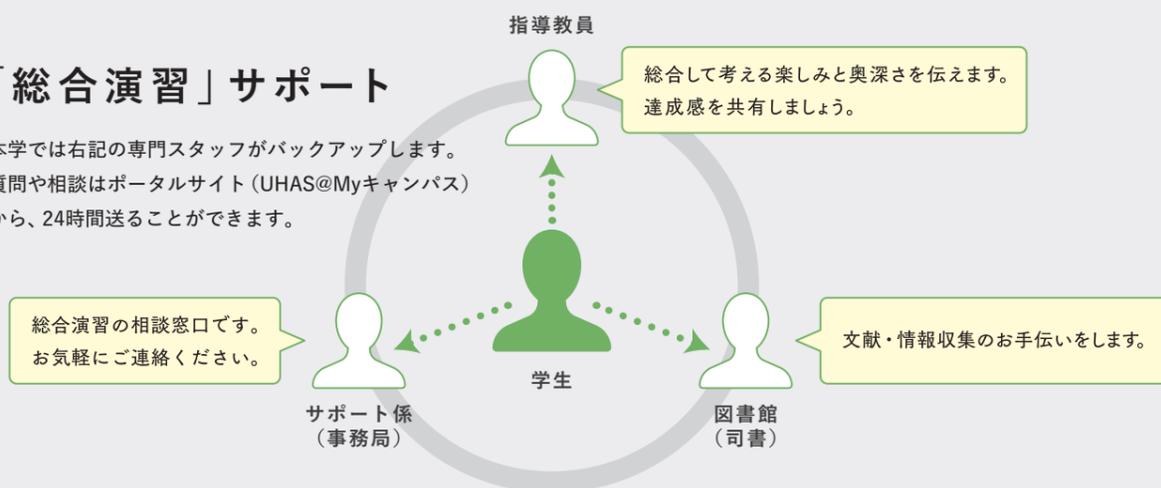
考える力を養う「総合演習」

本学では「総合演習」を、一人ひとりが学んださまざまな知識を「よりよく生きるための知恵」に転換するための重要な科目群として位置づけています。大学で学んだことを通して、皆さん自身が問題意識を持って身の回りを眺め、問題そのものを発見し、整理して解決方法を考え、表現するなかで、「人間とは何か」という人間の本質を見極める視座を育成するための最終プログラムが総合演習です。

Point

「総合演習」サポート

本学では右記の専門スタッフがバックアップします。
質問や相談はポータルサイト (UHAS@Myキャンパス) から、24時間送ることができます。



2つの科目から選べ、 総合して考える力を身につけるための「総合演習」

本学では「人間総合科学の理解Ⅰ・Ⅱ」「人間総合科学の探究Ⅰ・Ⅱ」のどちらかを選択し、総合して考える力を身につけ、学んだ知識を「よりよく生きるための知恵」に転換するための最終プログラムとして位置付けています。

「人間総合科学の理解Ⅰ・Ⅱ」

「こころ」「からだ」「文化・社会」の視点から学際的に学んだ心身健康科学を基盤に、1年間で4つの課題に取り組みます (課題は事前提示)。
各課題では、自身の生活や仕事、社会的役割と心身健康科学との関わりを考察し、レポートを作成します。レポート字数は600字から段階的に増加 (800字→1,000字→2,000字) していくため、考察力・表現力・文章構成力・語彙力を無理なく育成できます。
人間理解を深めながら、心身の健康と幸福に寄与する人間総合科学を、“生き方の道標”として実社会で活かす力を養います。

「人間総合科学の探究Ⅰ・Ⅱ」

心身健康科学にかかわるテーマを自ら設定し、指導教員の助言を受けながら探究を深め、8,000～12,000字の報告書を作成します。
本学科で学修をふまえ、課題の絞り込み、文献検索、データ収集、分析、考察から、人間総合科学を探究する素養を培います。論文を構成する力や客観的事実に基づく科学的・論理的思考力や推論の能力を向上させることができます。
この学びは、大学改革支援・学位授与機構への「学士の学位」申請に必要なレポート作成に活かされ、さらに大学院進学後の論文執筆に向けた貴重な実践経験となります。

Q & A

Q.1 学費 (正科生) はどのくらいかかりますか？

A.1

項目	1年次		2年次以降	
	前期	後期	前期	後期
入学科	35,000円	—	—	—
授業料	145,000円	145,000円	145,000円	145,000円
システム管理・維持費	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
合計	205,000円	170,000円	170,000円	170,000円

この他、編入学の場合は編入料100,000円 (初年度のみ)、下記コースを登録する場合は登録料 (初年度のみ) がかかります。また、登録選考料10,000円、テキスト代が別途必要です。

- ライフプロモーションコース：5,000円
- 看護教員養成コース：240,000円

Q.2 入学試験はありますか？

A.2

入学書類選考 (入学資格を証明する書類と入学志願動機書 (小論文)) により行い、学科試験はありません。指定校推薦については、所属の高等学校にお問い合わせください。その他、入学資格や出願に関しては募集要項をご確認ください。

「募集要項」



Q.3 学修にパソコンは必要ですか？

A.3

インターネット試験やレポートの提出があるため、パソコンを所持しインターネット接続環境があることを受講要件としています。インターネット授業の視聴はスマートフォンやタブレットでも可能です。

Q.4 学修についていけるか、仕事との両立ができるか不安です。

A.4

本学へは10代から70代まで幅広い年代の方が入学しています。学びやすいシステムとサポート体制を構築していますので、通信制大学の中で卒業率はトップクラスです。多くの方が不安を抱えて入学されますが、時間を有効活用して卒業されていますのでご安心ください。

Q.5 会場スクーリングの場所はどこですか？

A.5

科目ごとに蓮田キャンパス、東京サテライトキャンパス、オンラインのいずれかに決まっています。科目によって年に1～2回スケジュールされます。入学後、スクーリング日程表で確認することができます。

Q.6 卒業論文はありますか？

A.6

本学では卒業論文の作成に相当する科目として4年次に「総合演習」を開講しています。「総合演習」は2つの科目から選択することができます。「人間総合科学の理解」を選択すると年4回のレポートを提出します。「人間総合科学の探究」を選択した場合は、一般的な卒業論文にあたるものを作成します。大学院進学や学位授与申請を検討されている方は、論文を書く力が必要になるので「人間総合科学の探究」を履修してください。

Q.7 大学院には進学できますか？

A.7

はい。大学院に進学可能です。本学大学院人間総合科学科心身健康科学専攻 (通信制) への進学を希望する場合は、学内推薦制度もあります。

Q.8 入学式や卒業式に出席できますか？

A.8

埼玉県内の会場にて学園合同での入学式、卒業式を行います。もちろん会場での出席が可能です。当日はライブ配信もしておりますのでご都合に合わせてお選びください。

私がUHASを選んだ理由

人間という存在が立体的に捉えられるようになり、 自分自身への理解も深まりました



1年次入学／2022年3月卒業
岡戸 春菜さん

——入学を決めた理由

中学時代に起立性調節障害という身体的な疾患を患って学校に通えなくなり、高校時代には強迫性障害を抱えることに。私は身を持って“心身相関”ということを実感し、人間のこころとからだについて興味を持つようになりまして。こころ、からだ、文化・社会の3つの側面から人間を統合的に考える本学の建学の精神と、その中で本学科の通信制という形に魅力を感じ、入学を決めました。

——本学科で学んでよかったこと

私は、こころとからだを二元論的に分けて考えるのではなく統合的に考えるのが適切で、こころやからだというのはあくまでも視点の違いであり、人間を見つめることには変わらないのだと考えていました。その

上で、人間のこころとからだを心身相関という観点で捉え、その背景となる文化の側面も合わせて考えていくといった学びを進めるうちに、表面的に捉えていた人間という存在が徐々に立体的に捉えられるような実感を持つようになり、また、自分自身への理解も深まるようになりました。

——入学を検討している方へ

私は、自分自身が体験したことを本学で得た知識とかけ合わせ、よりよく生きるための知恵に変えることで、少しでも人々のこころ・からだ・文化に寄り添う人間として生きていきたいと考えています。同じような気持ちで本学への入学を考える人が、よりよく生きるための学びをスタートし、小さくとも力強いその一歩を進められることを祈ります。

自分との約束を守った4年間、 自分が頑張れる人間だということを知りました

——入学を決めた理由

仕事と育児をしながら学士の取得を望んでいた私にとって、現地スクーリングなしでも卒業できることが本学を選んだ理由の一つでした。さらに、本校が日本初の通信制私立単科大学として開学した大学であることから、オンライン環境の整った中で学べると思い、出願を決めました。

——本学科で学んでよかったこと

学ぶ分野ではなく、学びやすさなどの理由で入学した私ですが、今では人間総合科学大学を選んで本当に良かったと感じています。一番大きな理由は、心身健康科学科での人間についての学びが、自分を守り、他人を理解する助けになると感じたからです。この知識は、分野に関係なく今後の人生に活かせるものとなりま

した。二番目の理由は、さまざまな立場で頑張る仲間が存在を知ったことです。東京オリンピック期間中に、ネットカフェの個室でスクーリングに参加したことは良い思い出です。そして、それぞれが制限のある状況でも努力している姿に励まされ、学ぶ姿勢を持つのは自分次第なのだと感じました。

——卒業後について

本学での4年間は「自分が決めた予定は守る」を目標に過ごしてきましたが、本学で身につけた学習習慣は、また次の目標達成に活かせるかと確信しています。これからも学ぶ楽しさを忘れず、自身の成長につなげたいと思います。



1年次入学／2023年3月卒業
野口 菜穂さん

編入をしてゆっくり自分自身と向き合い、 新たな道へ進むことができました



3年次編入／2024年3月卒業
太田 楓さん

——通信に編入を決めた理由

通信に編入する前は、岩槻キャンパスの保健医療学部看護学科に所属し、看護師をめざしていました。学修や実習を行っていきなで、短時間で複数のことをこなしていくのが私には合わないなと思い、3年生になるタイミングで休学。今後どうするかを考えた結果、2年間看護学科に通ったのだから大学は卒業したいという気持ちになり、看護学科で取得した単位を無駄にせずそのまま移行することができる通信に編入し大学を卒業することを決めました。

——本学科で学んでよかったこと

心理学の科目を学ぶことで、自分の精神状態も分析することができるようになり、自分に合った対処方法も見つけられたので良かったなと思います。

——卒業後について

人材派遣の会社に就職します。大学卒業後について、就職するのか専門学校に行くのかと迷っていたのですが、当時登録をしていた派遣会社の方から声をかけていただきました。人材派遣には興味を持っていたので、面接を受けて内定をいただきました。

——入学を検討している方へ

本学科は担任制となっているため、何かあったら直ぐに担任の先生に質問しやすい環境です。また、授業もこころ、からだ、文化・社会それぞれ自分が学びたい科目を選んで勉強することができます。私のように最初通学制に通っていた人でも、通信制に編入して大学卒業をめざせるので一つの選択として考えてみてはいかがでしょうか。

「こころとからだ」について学びたい方、 「学士（鍼灸学）」学位取得を目指したい方へ

——通信に編入を決めた理由

鍼灸専門学校を卒業するにあたり、もう少し学びを深めたいとの思いがありました。折よく、本学の「学士申請サポートコースの4年次編入学」の制度が開始され、心身健康科学科（通信制）に入学しました。

——本学科で学んでよかったこと

私の生業である鍼灸、あん摩・マッサージ・指圧の臨床に直接活かせる「こころとからだ」についての学びを深めることができました。また、卒業後の対応となるのですが、もう一つの大きな目標である「学士（鍼灸学）」学位授与申請のための、成果レポートの作成をはじめ全般にわたる丁寧な指導・ご支援をいただくことができました。3月には大学は卒業となりましたが、引き続き「学士（鍼灸学）」学位取得に向けて頑

張りたいと思っています。

——苦労したこと、工夫したこと

1年間で新たな学びを進めながら、2本のレポート（いわゆる卒業論文と学士（鍼灸学）論文）を仕上げなければならず、そのための資料調査・収集等含めて苦労もありましたが、先生、スタッフの方々の手厚いサポートを受けながら乗り切りました。

——入学を検討している方へ

「こころとからだ」について学びを深めたい方、鍼灸師で、「学士（鍼灸学）」学位取得を目指したい方に入学をお勧めします。1年間の通信制であり、仕事をしながらでも通信機器さえあれば、いつでもどこでも学ぶことができます。そして、新たな学位を取得することで、仕事のうえで大きな学びが得られ、強みにもつながると思います。



4年次編入／2025年3月卒業
川内 昌次さん

沿革と組織

早稲田医療学園は70年以上にわたり、
社会で活躍する保健医療人を輩出し続けてきました

沿革

1953年	東京カイロプラクティック学院の創設 (開設学科) ◎本科 ◎師範科
1972年	早稲田鍼灸専門学校に改称 (開設学科) ◎東洋医療鍼灸学科
1990年	早稲田医療専門学校に改称 1991年4月 義肢装具学科を開設
1993年	早稲田医療技術専門学校を開学 チーム医療を担う人材の育成 (開設学科) ◎看護学科 ◎理学療法学科 ◎作業療法学科 ◎義肢装具学科
2000年	人間総合科学大学を開学 人間科学部 人間科学科(現:心身健康科学科)を開設
2004年	人間総合科学大学大学院を開設 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程を開設
2005年	人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科を開設
2007年	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士後期課程を開設 早稲田医療技術専門学校 保健学科を開設
2009年	早稲田医療専門学校を人間総合科学大学鍼灸医療専門学校に校名改称 人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻 修士課程を開設
2011年	人間総合科学大学 保健医療学部 看護学科、リハビリテーション学科(理学療法専攻/義肢装具専攻)を開設
2013年	学園創立60周年
2016年	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程を開設(2022年3月閉鎖)
2017年	人間総合科学大学 人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科を開設
2023年	学園創立70周年

組織図

人間総合科学大学

蓮田キャンパス

- 人間科学部
- 健康栄養学科
 - ヘルスフードサイエンス学科(食品健康科学)
 - 心身健康科学科(通信教育課程)
 - 心身健康科学科(通学課程) ※認可申請中

岩槻キャンパス

- 保健医療学部
- 看護学科
 - リハビリテーション学科
 - 理学療法専攻
 - 義肢装具専攻

人間総合科学大学大学院

人間総合科学研究科

- 心身健康科学専攻(通信制) 修士課程 博士後期課程
- 健康栄養科学専攻 修士課程

早稲田医療技術専門学校

保健学科

日本心身健康科学会

人間総合科学 心身健康科学研究所

事業提携校

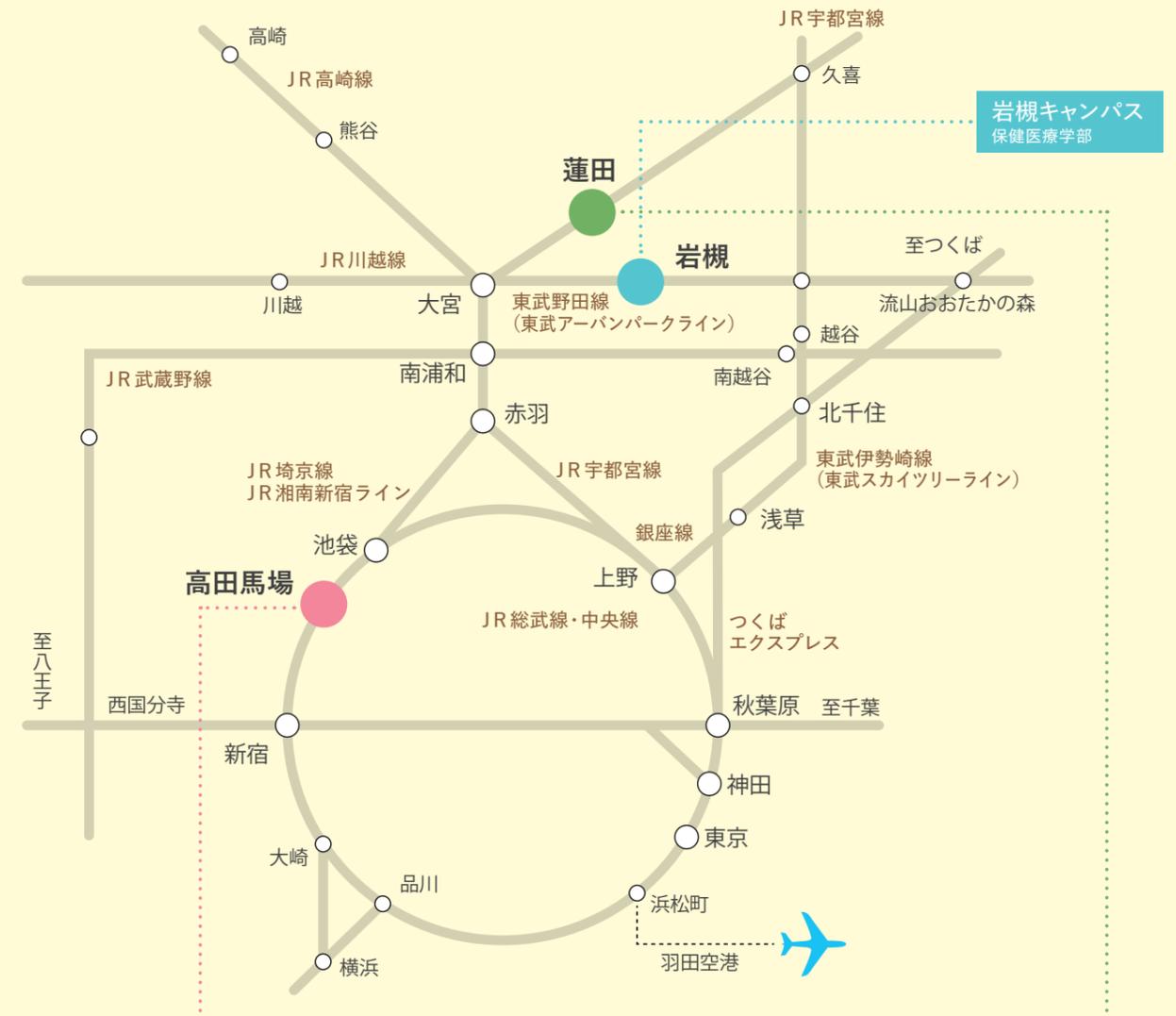
- 東京健康科学大学ベトナム

海外学術提携校

- [アメリカ]
- カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
- [タイ]
- マヒドン大学
- [ベトナム]
- ハイズオン医療技術大学

交通アクセス

蓮田キャンパス、岩槻キャンパス、東京サテライト



東京サテライト 人間科学部・大学院 ウェルネススクール

高田馬場駅から

- JR山手線 ●西武新宿線
- 地下鉄東西線

「高田馬場駅」から徒歩13分
もしくはバス(早大正門前行)で
高田馬場二丁目下車徒歩2分

- 地下鉄副都心線

「西早稲田駅」から徒歩8分

蓮田キャンパス 人間科学部・大学院

蓮田駅への所要時間

- ▶大宮から → 10分
- ▶上野から → 37分
- ▶東京から → 50分
- ▶新宿から → 42分
- ▶横浜から → 75分
- ▶羽田空港から → 90分
- ▶宇都宮から → 69分
- ▶高崎から → 88分

蓮田駅から

- ▶徒歩 → 13分